古都・事・言　3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

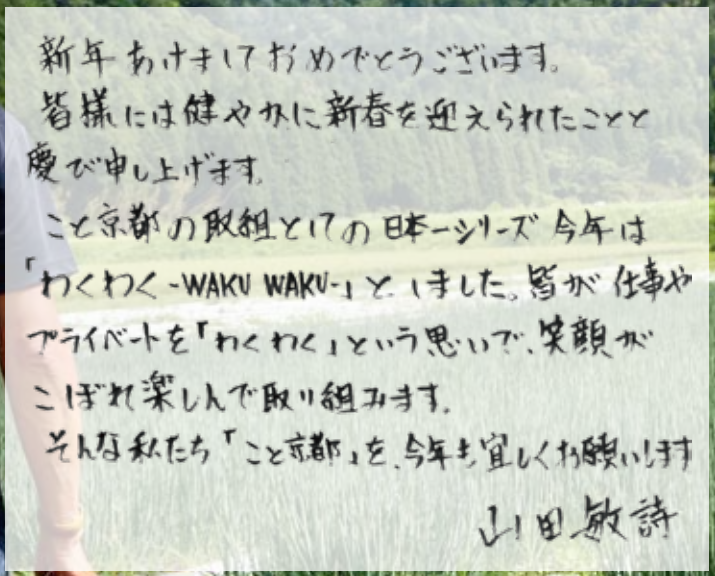
NO.200
2024年1月号
TEL：075-601-0668
こと京都株式会社

KOTO GROUP 4A

こと京都人宣言

ことグループを創る、私たちの「らしさ」――

一、相手が誰であれ、温かみのある笑顔で接します
二、お互いを認め合い、異なる考え方を排除しません
三、挑戦し続け、どのような状況でも楽しみながら成長します
四、問題は自分に原因があると考え、他人を責めません
五、落ちているゴミは拾い、困っている仲間がいたら助けます
六、全ての物事への感謝の心を、いつも忘れません
七、品格ある農業者となり、日本の農業新時代を開きます



今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

お待たせしました、いよいよ冬葱のお届けです

亀岡・市内で７月頃に定植しました。今年の暑い夏を耐え抜いた、根気強いねぎたちです。ねぎは乾燥に強い作物なので、雨が降らなくても枯れたりすることはありません。ですが、気候の変化によってダメージを受けると、その後の生育にも大きな影響を与えます。そうならないようにと、農人たちは葉面追肥などこまめなケアを行いました。その後、秋から冬にかけて順調に生育し、夜の冷え込みでこの時期特有の餡（ぬめり）も蓄えた、甘くて美味しい冬葱に育ちました。

冬葱

農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

雨の中、雪の中、春を望んでねぎ作り

昨年は例年に比べて、雨の中で収穫するということが少なかったなと思い返します。雨の中の収穫は病気の誘発など、あまり良いことがないので避けたいところですが、おかげさまで毎日出荷させて頂いているので、数日収穫を休むということができません。そのため、天候不順が続いたときは雨の中で収穫を行いました。冬の雨はとても冷たく、足場がぬかるみ、農人たちは寒さに震えながらの作業になります。風邪をひかないように、体調管理を行うことも大切な仕事のひとつです。また、昨年の夏場は雨不足でか弱いねぎを見ていたので、今のねぎは遅しく、安心します。

12月半ばに年内最後の定植作業を行いました。このねぎたちが収穫できるようになるのは来年の５月頃。１年の中でも畑にいる期間が一番長いねぎです。寒い時期を越えて、春に美味しいねぎが収穫できるようにしっかり管理します！

12月中旬の第一寒波で京丹後エリアは積雪しました。大きな被害には至りませんでした。

とある日の農人日記。

気温が低いため生育が緩やかではありますが、80cmを超える圃場もちらほら出てきました。目方も更に乗ってくると思われます。長くなりすぎると倒伏もしやすくなってしまうので、日々注視していきます。（丹後・浅尾）

1DAY 350g 野菜を食べよう プロジェクト

● ことグループの日本一シリーズについて

毎年ことグループスタッフ全員で「今年はこのテーマで日本一と言われるように取り組もう！」と決めている目標です。昨年は「進化」を掲げました。生産面では畑の収量アップを実現でき、台風対策も経験値アップ。また、会社全体でもロス削減や業務の見直しを行う中で、個人の能力向上に繋がりました。